



## 学ぼう!緊急時の心得

—ひなん所体験教室—

10月1日・2日、菊沢コミュニティセンターで、菊沢西小学校の4年生を対象に「ひなん所体験教室」が実施されました。「菊沢きずなプロジェクト実行委員会」が指導し、避難所に宿泊しながら2日間かけて行われ、災害時に役立つ道具の作り方や使い方を学んだほか、「大声コンテスト」で救助を求める際に大声を出す訓練をしました。児童たちは、楽しみながら防災に関する知識や技能を深めました。

## 芸術の秋を堪能

—美術館による学校出張展示会—

10月12日から11月9日まで、川上澄生美術館による学校出張展示会が実施されました。本展示会は、新型コロナの影響により制限されている校外学習の支援などを目的として実施されたもので、市内の小学校3校を巡回しました。

各校では、学芸員による版画についての授業も実施。実際の作品を目の前にした子どもたちは、お互いの感想を話し合うなど、芸術との触れ合いを楽しみました。



## 企業とかぬまを盛り上げる

—(株)クウカンを  
いちご市KANUMAサポーターズに認定—

本市では「いちご市」のイメージアップや、移住・定住を促進するための活動を市と連携して取り組む企業を「いちご市KANUMAサポーターズ」として認定しています。

10月16日には、空調換気設備工事を手掛ける(株)クウカン(茂呂)が新たに認定され、認定企業は21社となりました。認定証を手にした阿部社長は「本社を鹿沼におく企業としてこのまちを応援していきたい」と抱負を語りました。



## かぬま和牛で“かぬまはGŌŌ!”

—市特産品を使った給食を全園児に提供—

市では、新型コロナウイルスの影響により、さまざまな制約を受ける子どもたちを元気づけ、また生産者を支援するため、10月～令和3年3月まで毎月1回、市内保育園・幼稚園・認定こども園等へ「かぬま和牛」等の市特産品を使った給食を提供しています。

11月9日にはこじか保育園(万町)で実施。子どもたちはかぬま和牛のハンバーグを口いっぱい頬張り、笑顔を見せていました。

